

豊里



老人福祉施設でよさこい演舞

「YOSAKOI&ねぶたinとよさと」に招待した北海道大学「縁」とコンサフリーク〜北海道武蔵女子短期大学〜は8月4、5の両日、市内の老人ホームを慰問しました。慰問は、施設入居者によさこいの演舞を楽しんでもらいたいと、学生たちの申し出で実現。北海道の「YOSAKOIソーラン祭り」で優秀な成績を残している両チームが派手なパフォーマンスを披露しました。学生たちと交流した入居者らは楽しいひとときを過ごしました。

入善の仲間と交流し再会誓う

「入善町・米山町姉妹都市交流」は8月7から9までの3日間、平沼沼ふれあい公園などで開かれ、富山県入善町と米山地区の小・中学校から合わせて33人が交流しました。この事業は、若年世代が相互交流することにより、友好関係を深め、青少年の豊かな感性の育成が目的。参加者らは、ボートやウォーキングのほか、入善町の特産品であるジャンボスイカを味わいながら再会を誓いました。11月には入善町で開かれる扇状地マラソンへ参加する予定です。



米山

石越



クリーン作戦で町をきれいに

「クリーン作戦」(青少年のための登米市民会議石越支部主催、佐藤文則会長)は8月5日、石越地区内各行政区で実施されました。クリーン作戦は「道路ふれあい月間」の一斉清掃に合わせ、道路などの環境美化のため、各行政区の子どもたちと保護者がゴミ拾いを実施。早朝の作業にもかかわらず、多くの人が参加し、道端に捨てられた空き缶や紙くずなどを拾い歩きました。

小学校生活最後の夏の思い出

南方地区の小学校3校の6年生を対象とした交流合宿「大嶽山キャンプ村2018」は8月1、2の両日、大嶽山交流広場で開かれました。キャンプ村は、中学入学前の交流と自主性、協調性やリーダーシップなどを養うことが目的。今年も野外炊飯、キャンプファイヤー、ジュニアリーダーとのダンスやゲーム、水鉄砲づくり、興福寺住職の講話など、盛りだくさんの内容で楽しい思い出をつくりました。



南方

津山



こねて回して子ども陶芸教室

「森の子ども陶芸教室」(津山公民館主催)は7月30、31の両日、日高見窯主宰の鈴木由香さんを講師に、津山陶芸館で開かれ、津山地区の小学生25人が陶芸を体験しました。陶芸教室は、芸術文化活動を通して心豊かな子どもを育てるとともに、学年や学校の枠を超えた仲間づくりが目的。参加した児童らは「去年も同じものを作ったけど、今年はずっとうまくできてうれしい」と、自身の成長を喜んでいました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



盆踊りで地域住民が触れ合う

「森地区盆踊り大会」(森地区コミュニティ推進協議会主催、鈴木香会長)は8月14日、森公民館で開かれ、多くの来場者でにぎわいました。今年で4回目となる盆踊り大会は、地域住民や帰省者などとの触れ合いが目的。同協議会を中心に、8人のボランティアが協力して開催しました。やぐらが設置された会場では、盆踊りや和太鼓の演奏のほか、金魚すくいや射的などが催され、大人から子どもまで、笑顔で楽しんでいました。

明治村を盛り上げた夏まつり

「とよま明治村夏まつり」(とよま明治村夏まつり実行委員会、みやぎ北上商工会青年部登米支部主催)は8月4日、登米総合体育館前駐車場の特設会場で開かれ、約1500人が来場しました。ステージではお笑いライブやダンスなどを開催。会場には人工のビーチが設置されたほか、登米町のジュニアリーダーサークル「クールミント」が水ヨーヨーすくいと射的を出店し、多くの子どもたちでにぎわいました。



登米

東和



仲間と共に防災意識を高める

「平成30年度夏休み防災キャンプ」(青少年のための登米市民会議東和支部主催、秋山宏会長)は8月11、12の両日、網木親和会館で開かれ、東和地区内の小学生13人が1泊2日で防災の知識を深めました。防災キャンプは、共助の意識の高揚が目的。参加した児童らは、応急手当、毛布を使った搬送や放水などの防災体験のほか、野菜の収穫や野外炊飯などを通して、仲間と交流しながら防災意識を高めました。

新しい仲間と楽しい思い出を

交流合宿「八ん子かっぱ村」は8月10から12までの3日間、栗原市花山にある国立花山青少年自然の家で開かれ、中田地区5校の小学6年生128人が参加しました。交流合宿は、中学校入学前の仲間づくりと、小学校最後の夏休みの思い出をつくることを目的。最初は緊張した様子の児童らでしたが、キャンプファイヤーでのダンスやミニゲームのほか、沢遊びやウォークラリーを通して自然を満喫しながら、新しい仲間と交流を深めました。



中田